

## 【授業科目】助産診断学 Midwifery Diagnostics

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
日比 千恵、高塚麻由、野内香純、産科医	3年次後期・4年次前期	選択	3	45	講義	あり	巻末掲載	否
授業概要 (内容と進め方)及び 課題に対するフ ィードバック 方法	授業概要/助産の基本概念、専門的知識を踏まえ、妊娠・分娩・産褥期が正常な経過と逸脱を予測するのに必要な知識・診断について学習する。母子をとりまく環境が母子およびその家族の身体的・心理的・社会的状態にどのように関連しているかをアセスメントし、助産過程を展開できる能力を養う。実践事例に基づくシミュレーションセッションにより妊娠、分娩経過において必要時、継続的な支援につなげられる母子(胎児)の状態について思考過程を深め、判断できる能力を養う。課題に対するフィードバック方法/提出されたレポート・シミュレーションセッション時の講評。 *実務経験を持つ教員が授業を進める。							
授業の 位置づけ	大学のディプロマ・ポリシー②「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から看護を実践する能力を修得できる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1. 妊婦及び胎児のケアに必要な身体的・精神的・社会的基礎知識を述べることができる。 2. 妊娠期にある妊婦の正常経過及び逸脱した状態への助産診断、助産過程を展開できる。 3. アセスメントおよび助産診断に基づいたハイリスク対象者への支援について考えることができる。 4. 分娩期における助産診断と助産過程の展開ができる 5. 母乳育児支援に必要な基礎的知識を述べるができる。							
時間外学習に 必要な 内容・時間	【事前学習】第1～23回：母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ、母性看護学実習の関連項目の復習(各60分) シミュレーションセッションに必要な課題の学習(各60分) 【事後学習】第1～23回：学習した内容を教科書で調べなおし、自己学習ノートにまとめる。ノートは助産学実習で使用できるように工夫して作成すること。(各60分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1～4回 妊娠期、分娩期の助産ケアに必要な基礎知識を学ぶ：妊娠・分娩が母体及び胎児に及ぼす影響、分娩の3要素(産道・娩出力・出物)および母体精神を理解する。 グループワークにより、学習状況を確認しながら知識を深める 第5～6回 分娩経過の診断(分娩開始、進行経過、4要素の評価、分娩予測)を行う。 妊娠期・分娩期の心理的・社会的状態を理解し、事例に基づき妊娠・分娩の診断、時期診断、経過診断を行う(GW) 第7回 産婦の健康生活状況、心理社会的変化と産婦及び家族への支援、今後の演習(シミュレーションセッション)の進め方 第8回 ハイリスク妊娠・異常分娩時の助産診断と助産ケア、緊急時の対応 第9回 分娩時の産科手術と看護(吸引・鉗子分娩、帝王切開時の看護、分娩時の異常出血と対応) 第10回 ペリネイタル・ロスの褥婦および家族へのケアについて考える。 第11～15回 妊娠経過のアセスメントと診断①～⑤ シミュレーションにより妊婦健康診査、入院時の情報収集と診断(ハイリスク妊娠、妊娠合併症、その他(グループ学習)を含む) 第16～17回 妊娠経過のアセスメントと診断⑥～⑦ シミュレーションにより妊婦の健康課題の把握、支援についてのアセスメント・診断 第18～19回 胎児心拍モニタリング 第20～22回 分娩助産に関するシミュレーション発表の振り返り(GW) 第23回 母乳育児支援に必要な知識・支援の実際を学ぶ (妊娠～産褥期の母乳哺育継続への診断と今後の予測)(GW)						第1～4回： 日比 第5～6回： 日比、高塚、野内 第7回：日比 第8～9回： 野内 第10回：日比  第11～17回： 日比、高塚、野内 第18～19回：産科 医 第20～22回：日比、 高塚、野内 第23回：日比	
評価方法 評価基準	定期試験70%、事前・事後学習内容を含むシミュレーションセッション内容の助産過程、ノートのまとめ30%							
教科書	1. 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ第6版 医学書院 2. 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ第6版 医学書院 3. 基礎助産学2 母子の基礎科学第6版 医学書院 4. 基礎助産学4 母子の心理・社会学第6版 医学書院 5. 『胎児心拍数モニタリング講座、改定4版』藤森敬也 6. 『今日の助産 改定4版』北川真理子他編著、南江堂 7. 『助産師基礎教育テキスト第7巻、ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア』遠藤俊子他編 2025年版 日本看護協会出版会				参考 書等	『改定23版 最新産科学、正常編』荒木勤 文光堂 『改定23版 最新産科学、異常編』荒木勤 文光堂 『産婦人科診療ガイドライン産科編2020年』日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編集 『助産外来の健診技術』進 純郎 医学書院 助産師基礎教育テキスト第4巻 日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト第5巻 日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト第6巻 日本看護協会出版会		
学生への 助言等	シミュレーションセッションにより、妊産褥婦の状態を適切に判断できるよう、しっかり事前学習をし、学生同士の意見交換を行い、お互いに学習を深めていってください。							